

### Ⅲ 職業

#### 1 職場での男女平等について

(現在、仕事〔収入を得る仕事〕をしている方にお聞きします。)

問6 あなたの職場では、次にあげる(a)～(f)それぞれの面で男女平等になっていると思いますか。あなたの考えに近いものの番号に1つずつ○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

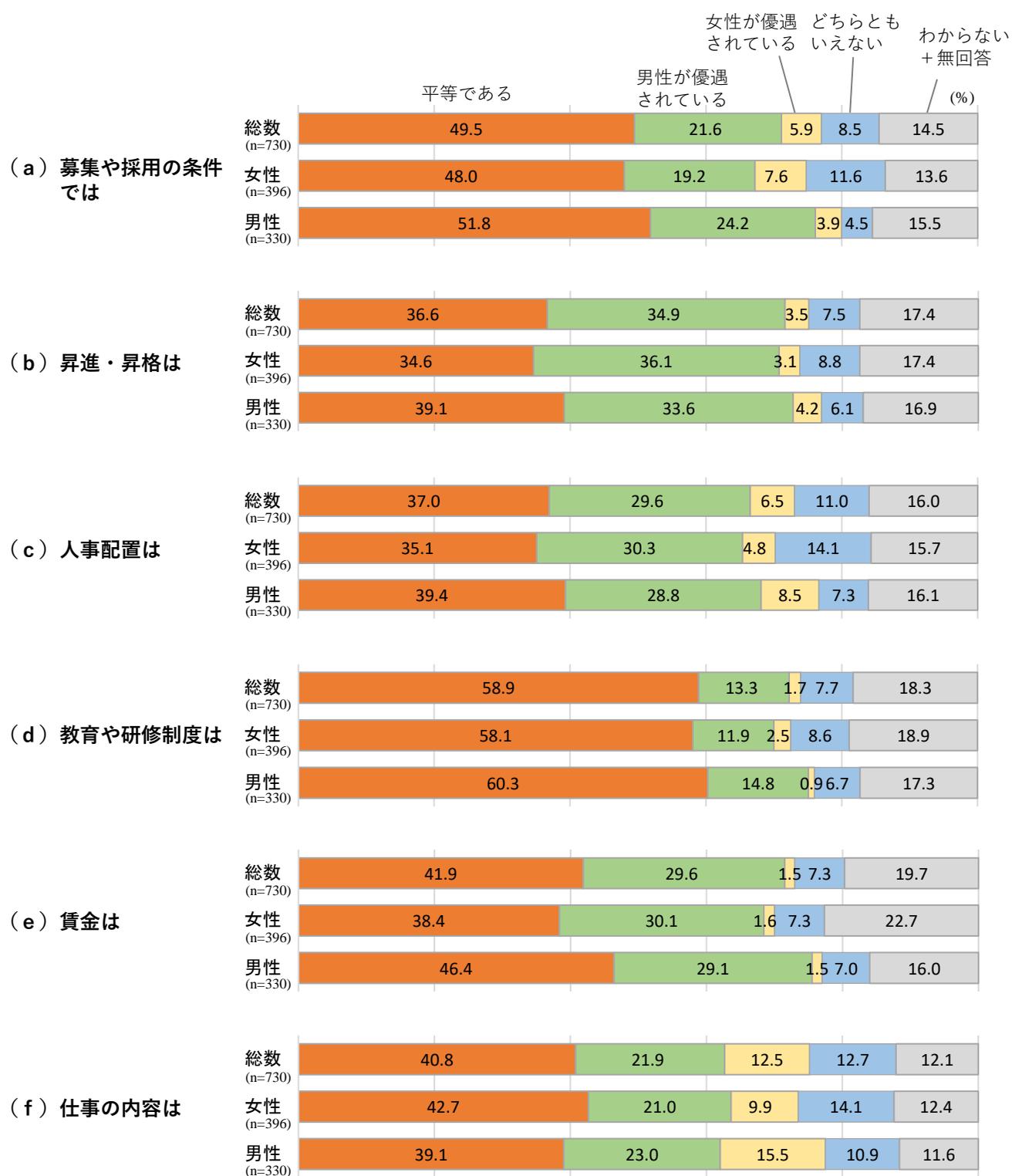
男女とも「平等である」と回答した人が最も多いのは、“(d)教育や研修制度は”(女性58.1%、男性60.3%)となっている。

一方、最も少ないのは、女性では“(b)昇進・昇格は”(34.6%)、男性では“(b)昇進・昇格は”と“(f)仕事の内容は”(ともに39.1%)となっている。

『男性が優遇されている』については、男女とも“(b)昇進・昇格は”(女性36.1%、男性33.6%)が最も多い。

『女性が優遇されている』については、男女とも“(f)仕事の内容は”(女性9.9%、男性15.5%)が最も多い。

図 6 - 1 職場での男女平等について（性別）



※『男性が優遇されている』は、調査票選択肢の「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計したもの。  
 『女性が優遇されている』は、調査票選択肢の「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合計したもの。

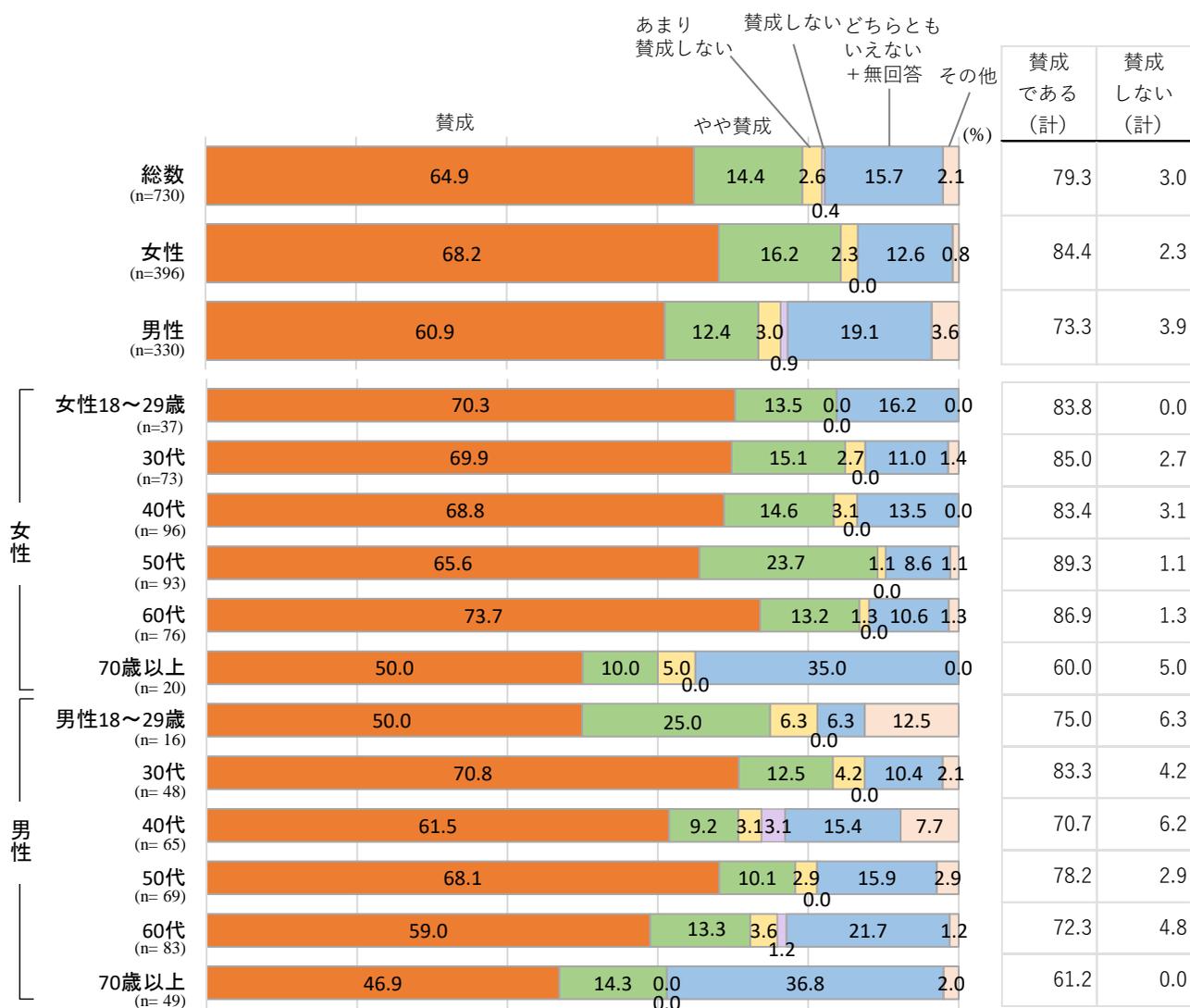
## 2 女性が管理職に昇進することについて

問7 女性が管理職に昇進することについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

男女とも『賛成である(計)』(女性84.4%、男性73.3%)が『賛成しない(計)』(女性2.3%、男性3.9%)を上回っている。  
『賛成である(計)』は女性の方が男性より11.1ポイント多く、『賛成しない(計)』は男性の方が女性より1.6ポイント多くなっている。

【性×年代別】  
女性で『賛成である(計)』が最も多いのは、50代(89.3%)で、次いで60代(86.9%)と続き、70歳以上(60.0%)が最も少ない。  
男性で『賛成である(計)』が最も多いのは、30代(83.3%)で、次いで50代(78.2%)と続き、70歳以上(61.2%)が最も少ない。

図7-1 女性が管理職に昇進することについて(性別、性×年代別)



※『賛成である(計)』は調査票選択肢の「賛成」と「やや賛成」を合計したものの。  
『賛成しない(計)』は「賛成しない」と「あまり賛成しない」を合計したものの。

### 3 管理職・議員等への就任・立候補を打診された場合の意欲

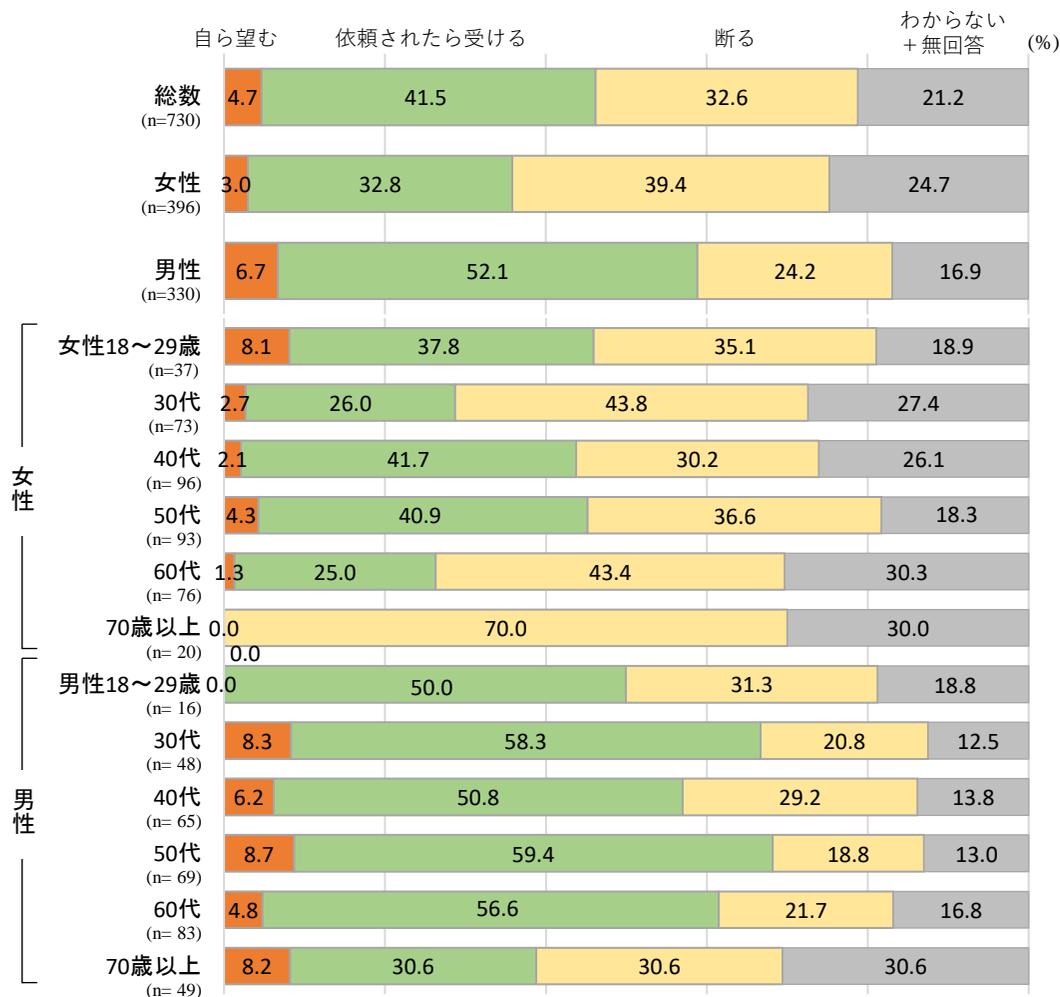
問8 あなたは、次の(a)～(c)の役職について就任を打診された場合、引き受けますか。

#### (a) 職場の管理職や役員

女性では「断る」(39.4%)が最も多く、男性では「依頼されたら受ける」(52.1%)が最も多い。

【性×年代別】  
 女性で「断る」と回答した割合が最も多いのは、70歳以上(70.0%)、次いで30代(43.8%)、60代(43.4%)と続き、40代(30.2%)が最も少ない。  
 男性で「断る」と回答した割合が最も多いのは、18～29歳(31.3%)で、次いで、70歳以上(30.6%)、40代(29.2%)と続き、50代(18.8%)が最も少ない。

図8-1 打診された場合の意欲 (a) 職場の管理職や役員 (性別、性×年代別)



(b) 自治会長、町内会長

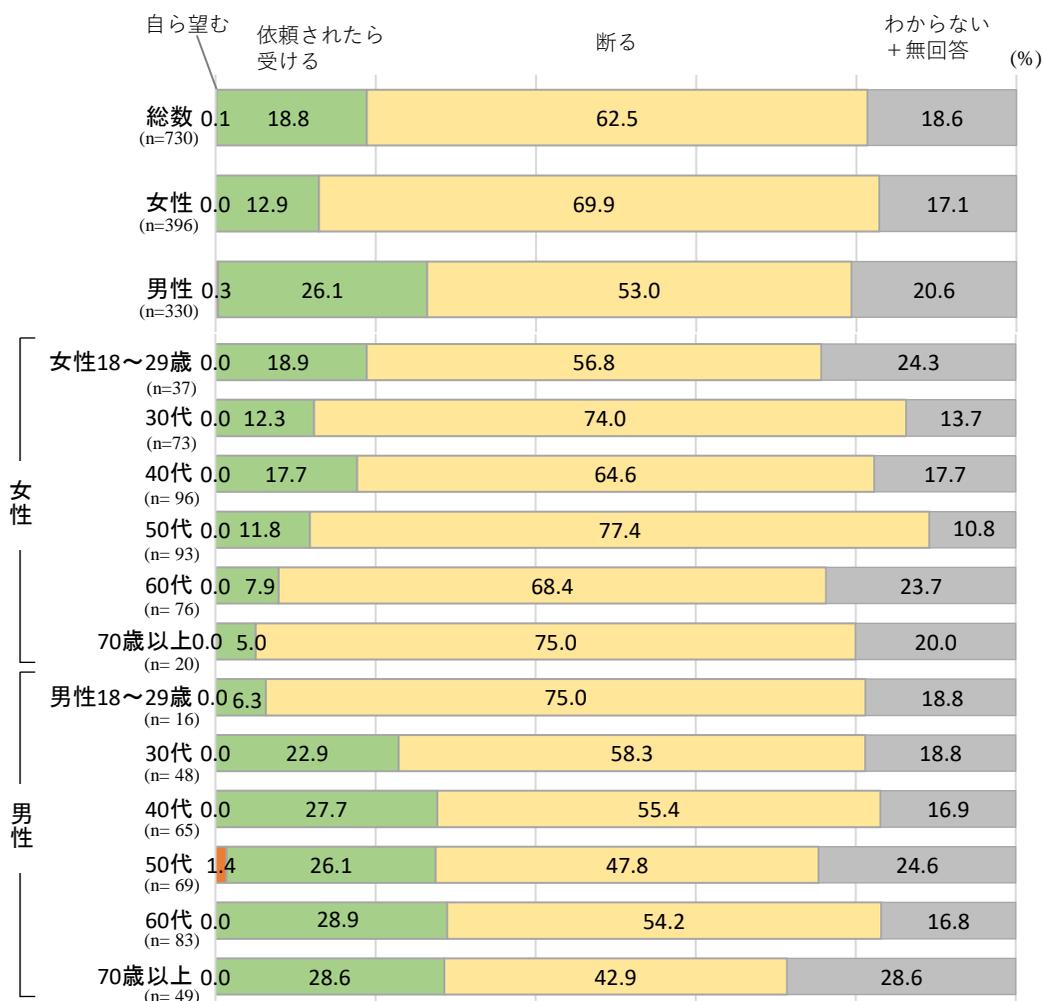
男女とも「断る」(女性69.9%、男性53.0%)が最も多い。

【性×年代別】

女性で「断る」と回答した割合が最も多いのは、50代(77.4%)、次いで70歳以上(75.0%)、30代(74.0%)と続き、18~29歳(56.8%)が最も少ない。

男性で「断る」と回答した割合が最も多いのは、18~29歳(75.0%)、次いで30代(58.3%)、40代(55.4%)と続き、70歳以上(42.9%)が最も少ない。

図8-2 打診された場合の意欲 (b) 自治会長、町内会長(性別、性×年代別)



(c) 議員や自治体の首長

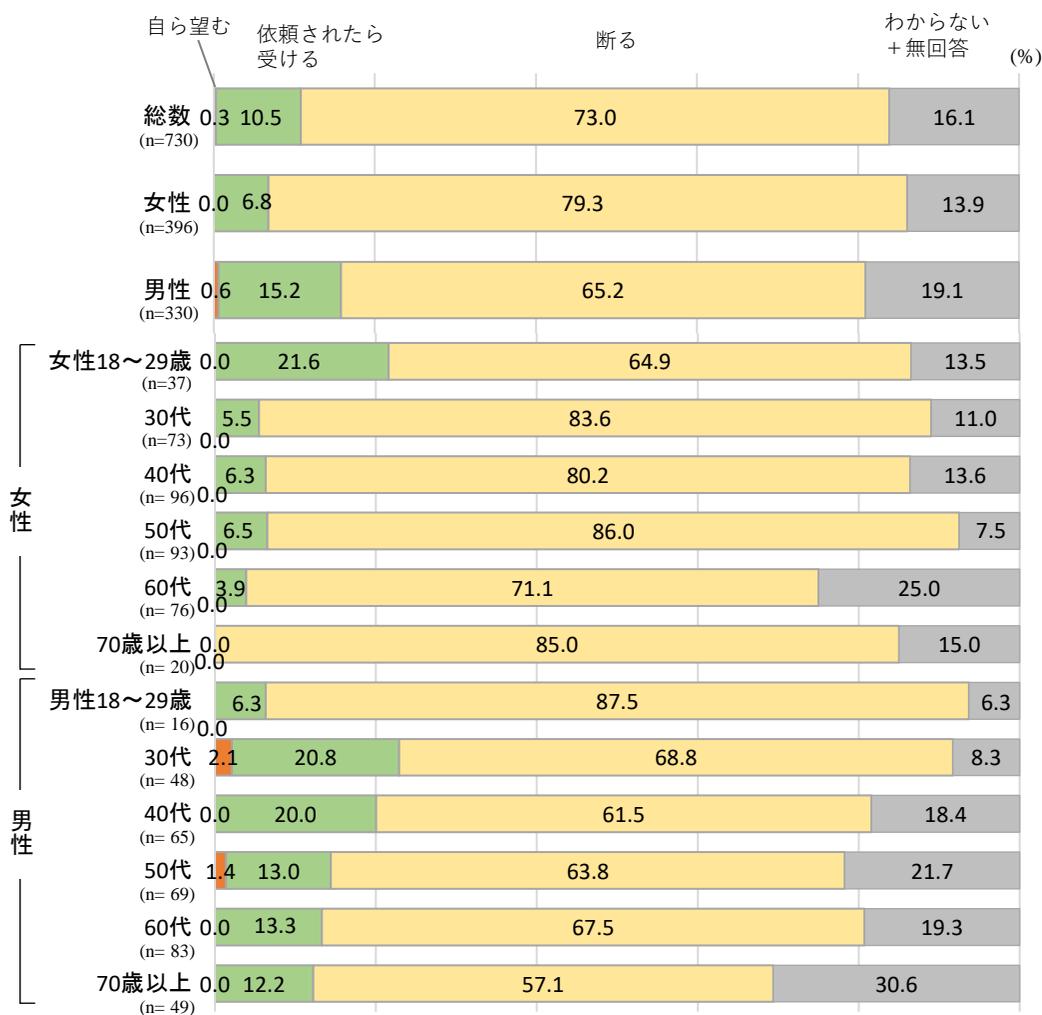
男女とも「断る」(女性79.3%、男性65.2%)が最も多い。

【性×年代別】

女性で「断る」と回答した割合が最も多いのは、50代(86.0%)、次いで70歳以上(85.0%)、30代(83.6%)と続き、18~29歳(64.9%)が最も少ない。

男性で「断る」と回答した割合が最も多いのは、18~29歳(87.5%)で、次いで30代(68.8%)、60代(67.5%)と続き、70歳以上(57.1%)が最も少ない。

図8-3 打診された場合の意欲 (c) 議員や自治体の首長(性別、性×年代別)



## 4 打診を断る理由

問8-1 【問8の(a)~(c)のいずれかで「3. 断る」と答えた方にお尋ねします】  
断る理由は何ですか。(a)~(c)について当てはまる項目の番号を記入してください。  
(それぞれ3つまで)

### (a) 職場の管理職や役員

全体では、「責任が重いから」(47.5%)が最も多く、次いで、「知識や能力の面で不安があるから」(38.7%)、「人間関係がわずらわしいから」(21.8%)が続いている。

男女の差は「人間関係がわずらわしいから」が最も大きく、男性の方が22.2ポイント多くなっている。

#### 【性×年代別】

女性では、「責任が重いから」が18~29歳、30代で6割を超え、50代では5割を超えている。また、「知識や能力の面で不安があるから」は40代と50代で最も多い。(60代は上位2項目が同率1位)

男性では、「責任が重いから」が40代と50代を除く年代で最も多くなっている。40代では「知識や能力の面で不安があるから」が、50代では「人間関係がわずらわしいから」が最も多くなっている。

※男性の18~29歳については、サンプル数が少ないため、参考掲載とする。

図8-1-1 打診を断る理由 (a) 職場の管理職や役員 (性別)

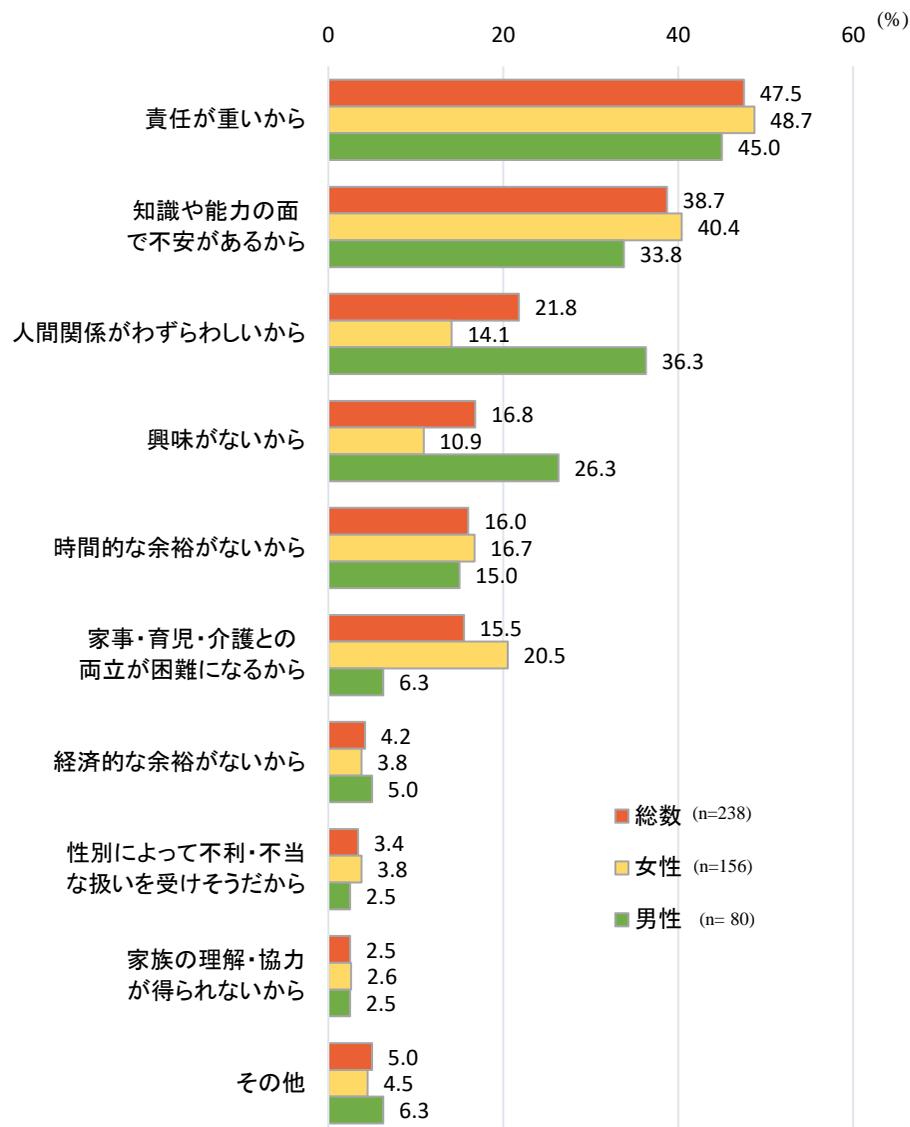
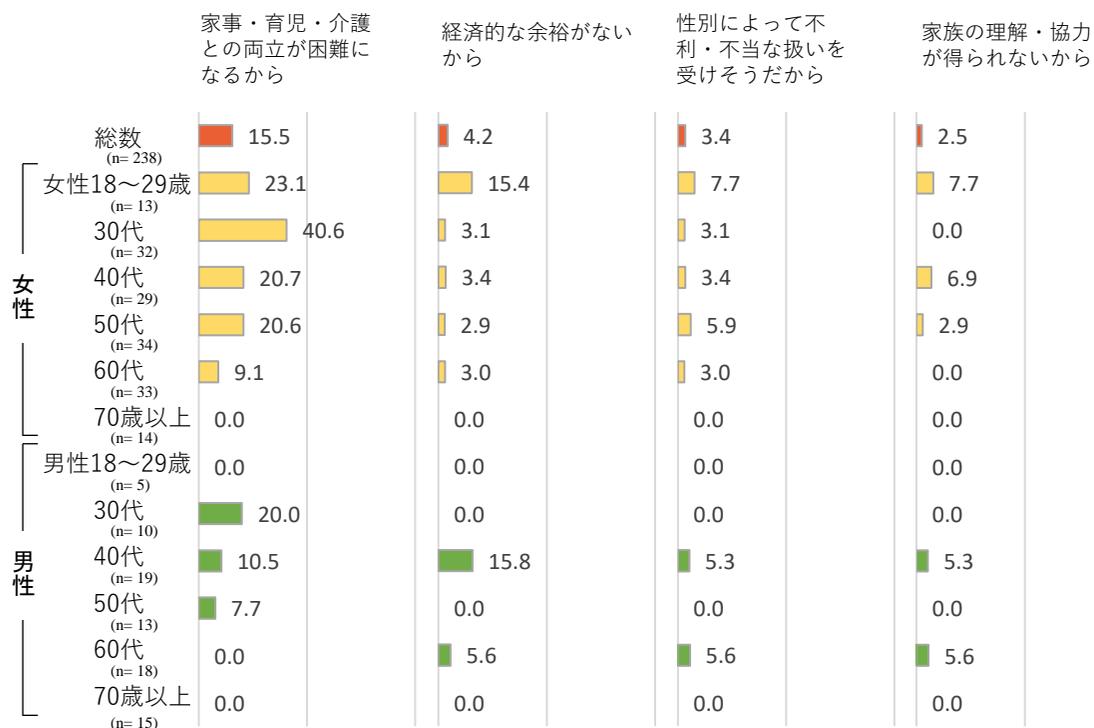
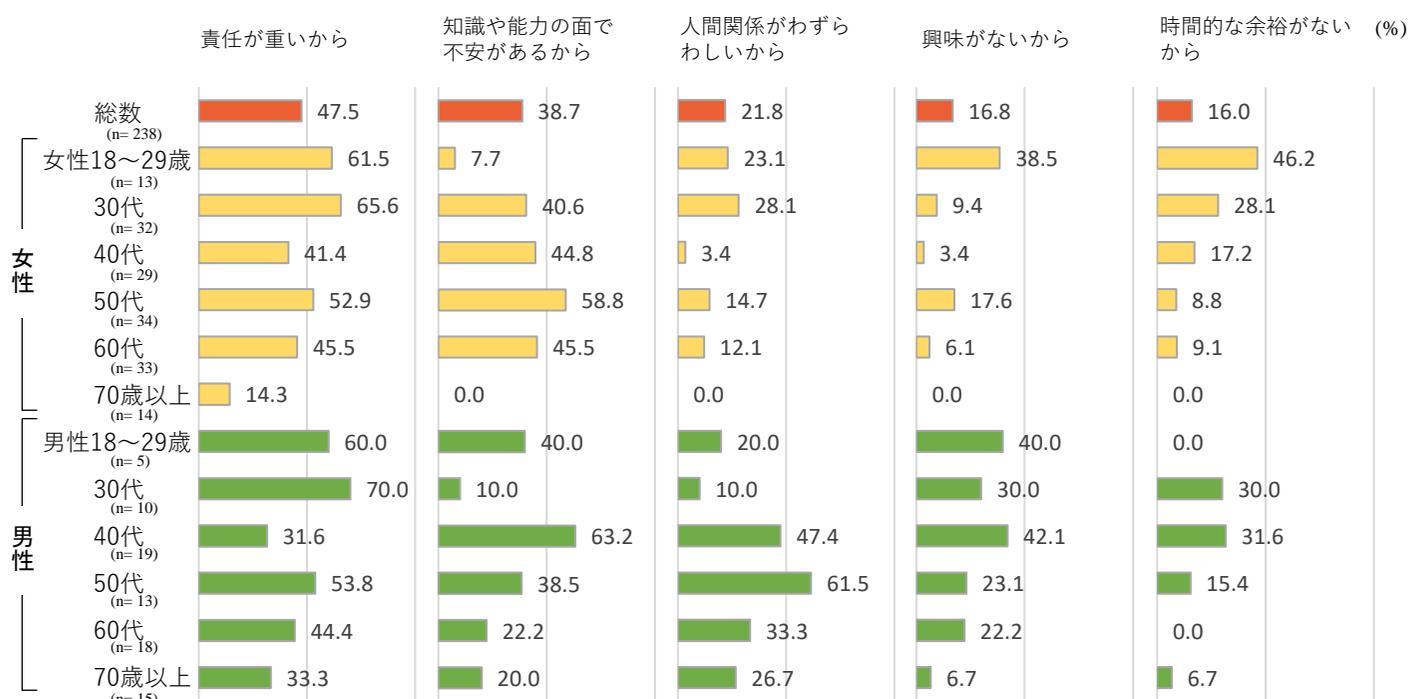


図8-1-2 打診を断る理由 (a) 職場の管理職や役員 (性×年代別)



(b) 自治会長、町内会長

全体では、「責任が重いから」(38.8%)が最も多く、次いで、「時間的な余裕がないから」(35.5%)、「知識や能力の面で不安があるから」(33.8%)が続いている。

男女の差は「人間関係がわずらわしいから」が最も大きく、男性の方が14.0ポイント多くなっている。

【性×年代別】

女性では、「責任が重いから」が18～29歳、40代・50代で最も多く、「知識や能力の面で不安があるから」は30代と60代で最も多い。

男性では、「興味がないから」は18～29歳で、「時間的な余裕がないから」は30代から50代で、「人間関係がわずらわしいから」は30代・40代と60代で最も多くなっている。(60代では、「責任が重いから」も同率で最も多くなっている。)

図8-1-3 打診を断る理由 (b) 自治会長、町内会長 (性別)

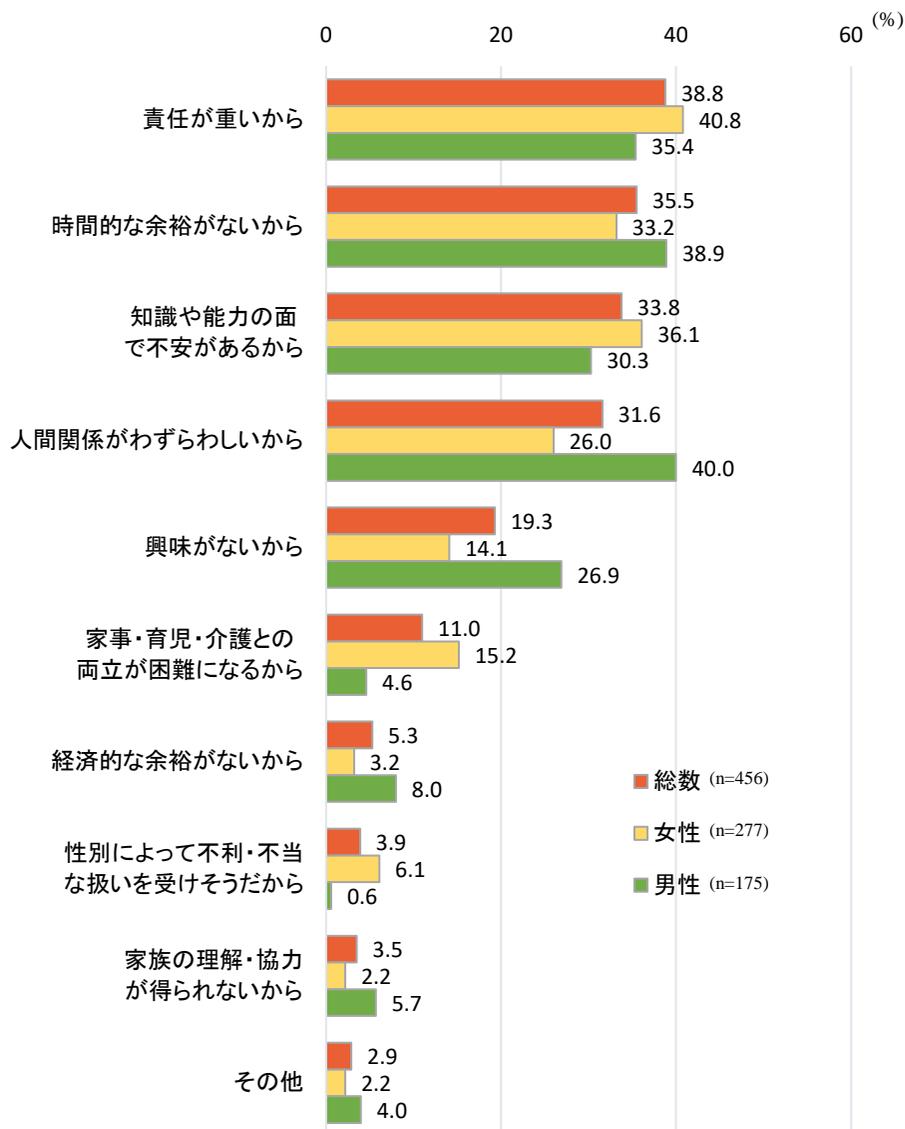
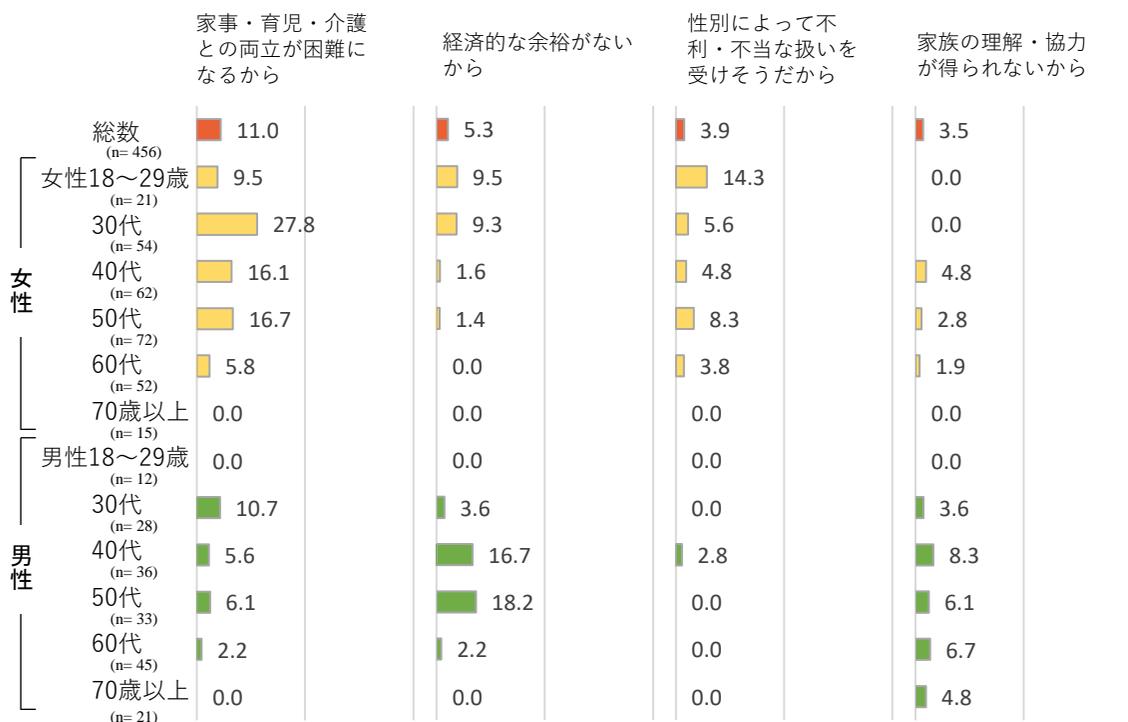
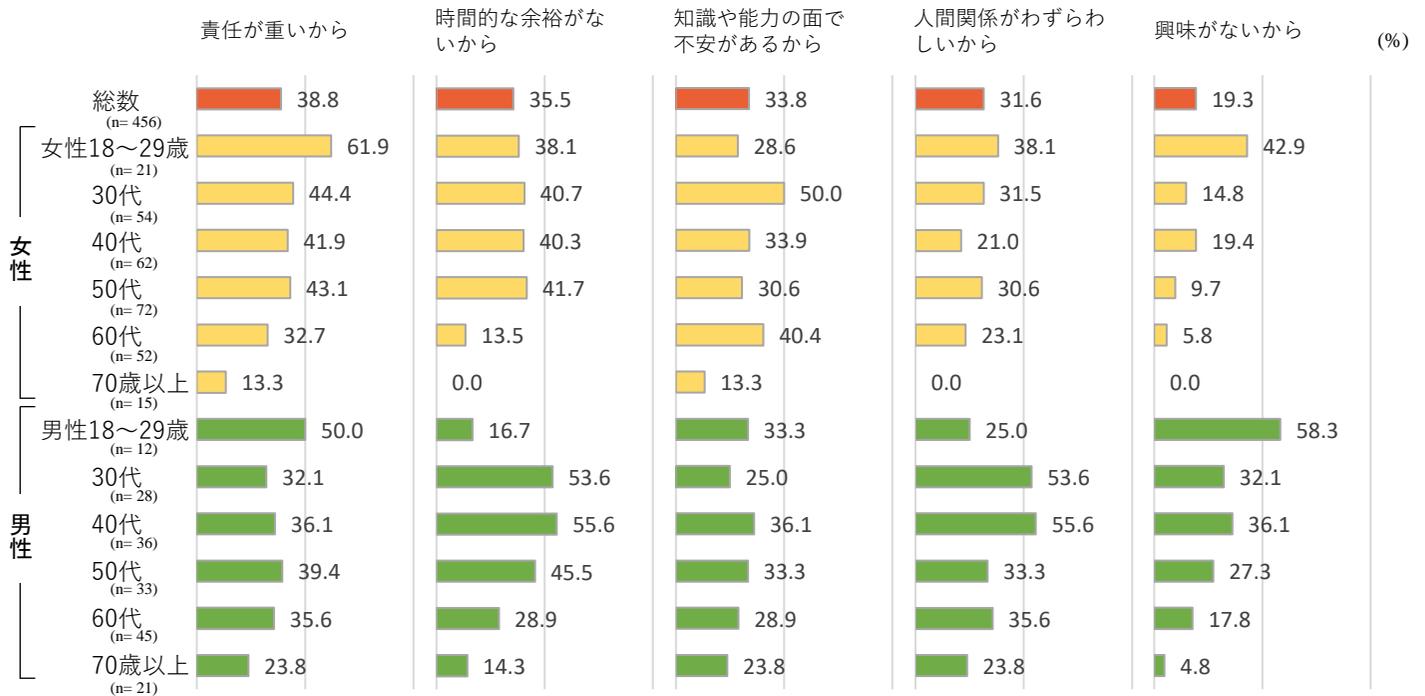


図8-1-4 打診を断る理由 (b) 自治会長、町内会長 (性×年代別)



(c) 議員や自治体の首長

全体では、「責任が重いから」(43.9%)が最も多く、次いで、「知識や能力の面で不安があるから」(39.8%)「時間的な余裕がないから」(27.8%)が続いている。  
 男女の差は「人間関係がわずらわしいから」が最も大きく、男性の方が10.2ポイント多くなっている。

【性×年代別】  
 女性では、「責任が重いから」が18～29歳、40代・50代・70歳以上で最も多く、「知識や能力の面で不安があるから」は30代と60代で最も多い。  
 男性では、「責任が重いから」は18～29歳、40代・50代・70歳以上で、「知識や能力の面で不安があるから」は60代で最も多くなっている。(40代では「興味がないから」も同率で最も多くなっている。)30代では、「時間的な余裕がないから」、「興味がないから」、「人間関係がわずらわしいから」の3つが同率で最も多くなっている。

図8-1-5 打診を断る理由 (c) 議員や自治体の首長 (性別)

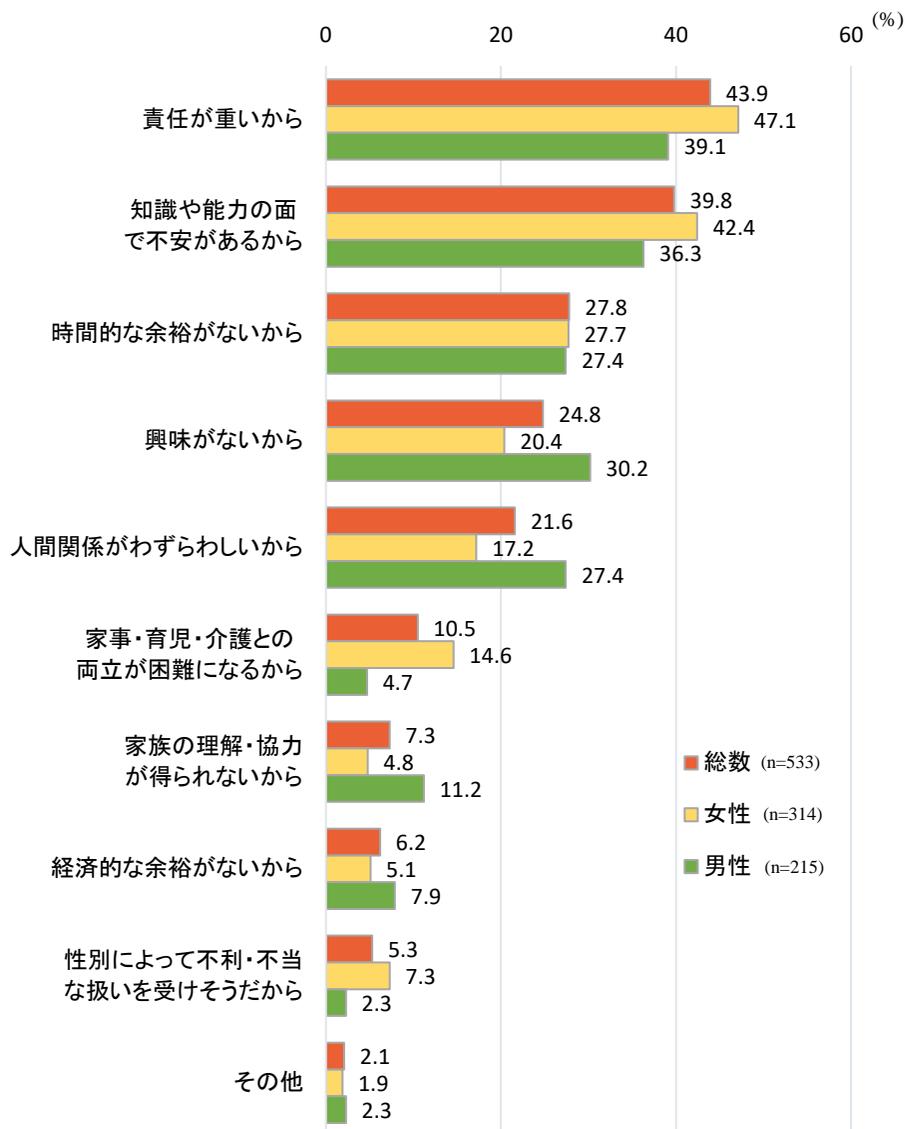
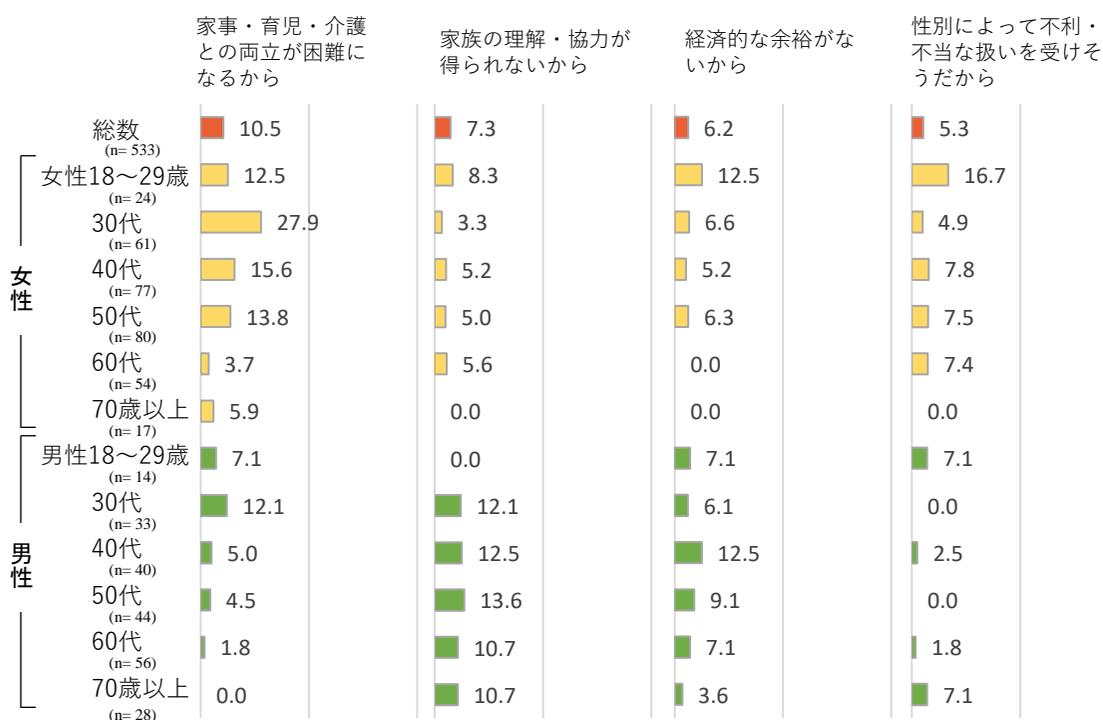
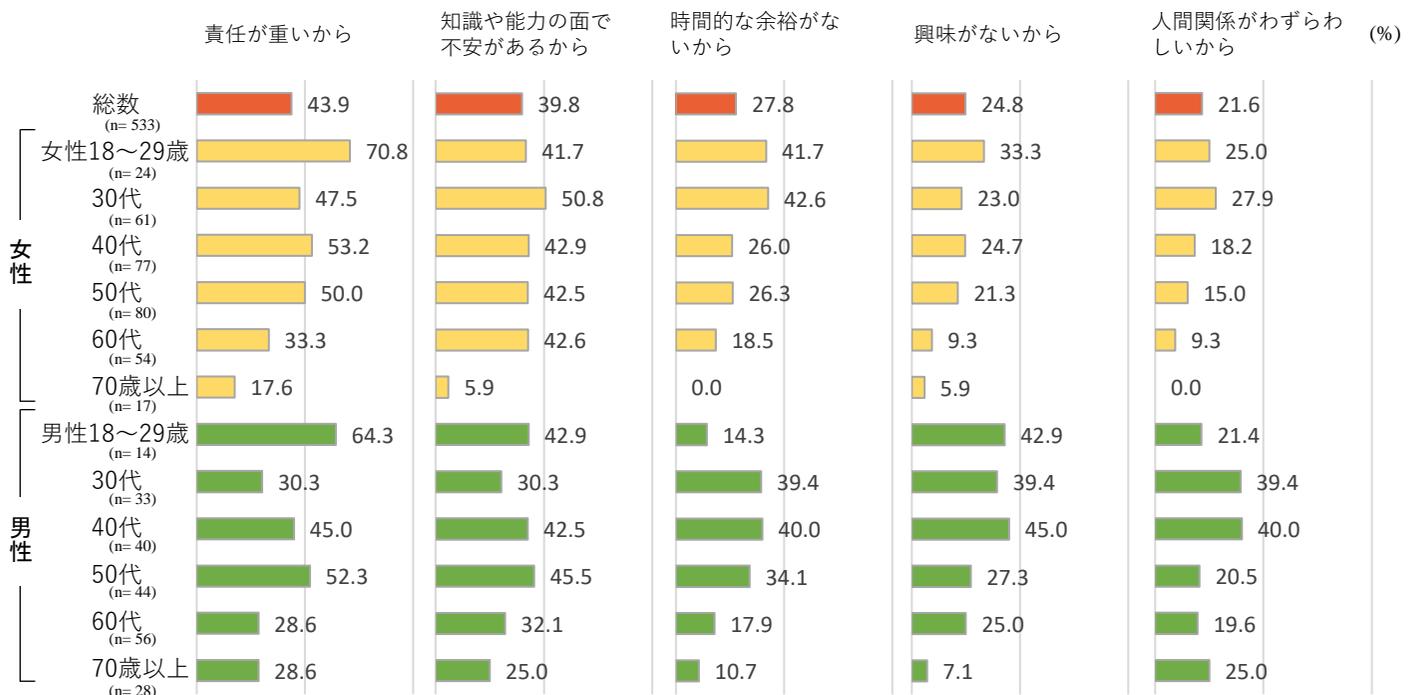


図8-1-6 打診を断る理由 (c) 議員や自治体の首長 (性×年代別)



## 5 女性のリーダーを増やす上での障害

問9 あなたは、就業分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。  
(○はいくつでも)

男女とも「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」（女性62.4%、男性43.0%）が最も多くなっている。

男女差では、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」（19.4ポイント差）で女性が男性のポイントを大きく上回っており、「現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと」（5.2ポイント差）で男性が女性のポイントを上回っている。

### 【性×年代別】

女性では、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」はどの年代でも最も多く、30代以上で6割を超えている。

男性では、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」は18歳以上から50代までで最も多く、60代と70歳以上では「長時間労働の改善が十分ではないこと」が最も多くなっている。

図9-1 女性のリーダーを増やす上での障害（性別）

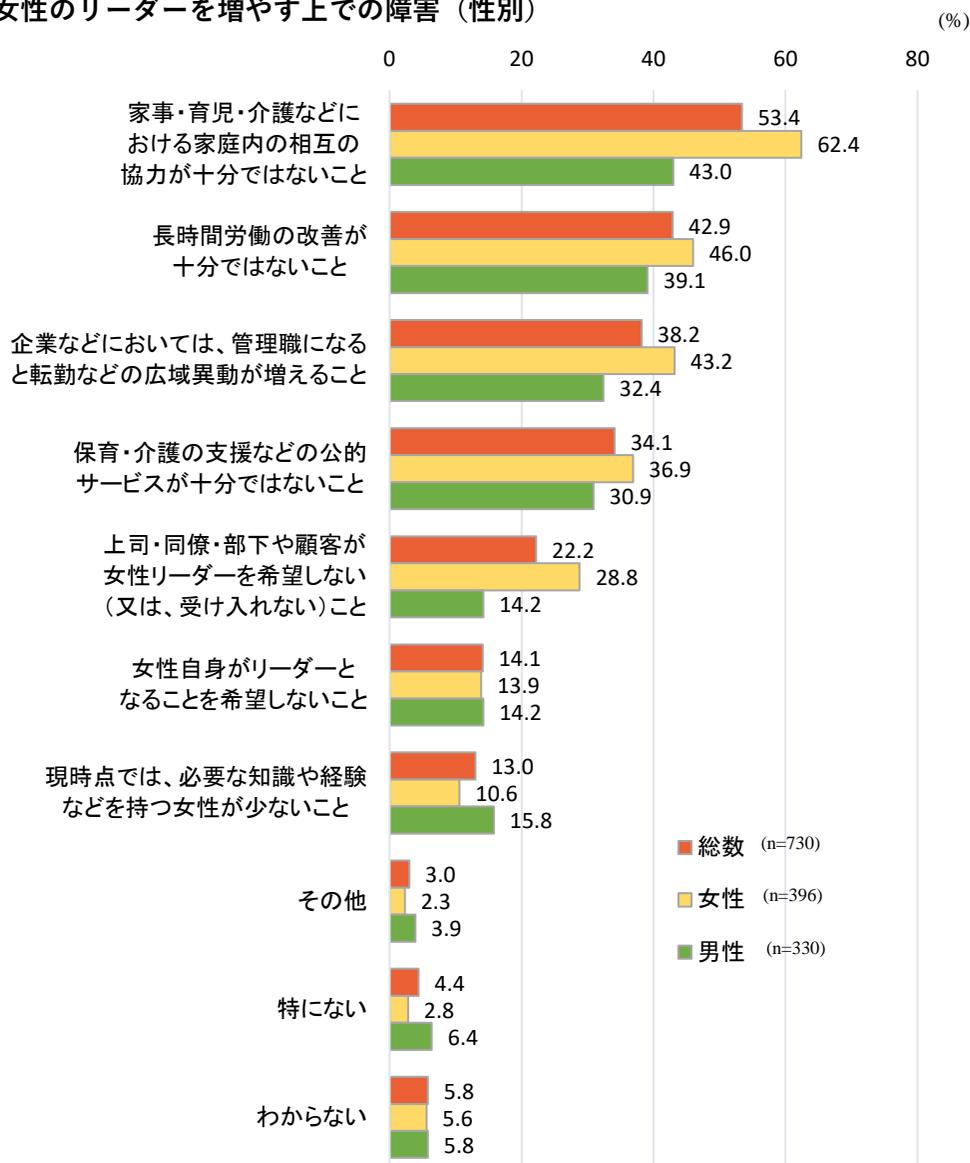
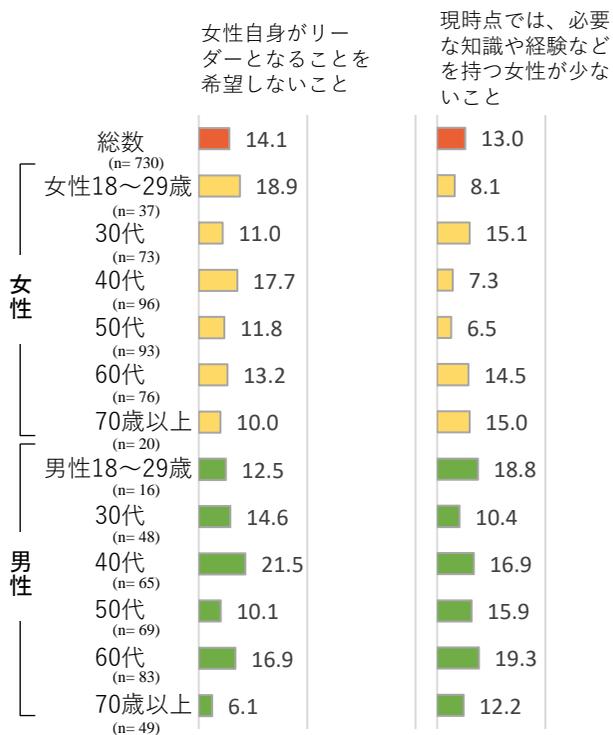
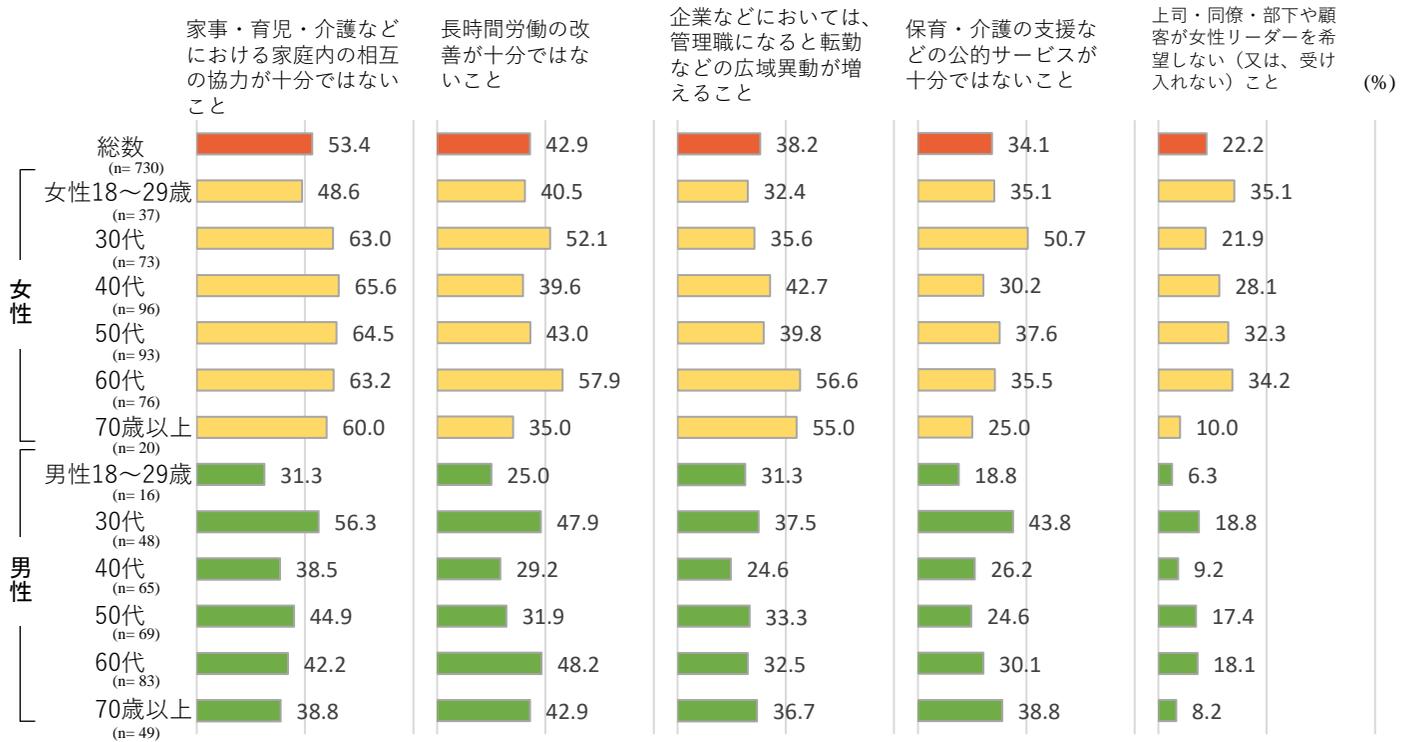


図9-2 女性のリーダーを増やす上での障害（性×年代別）



## 6 女性が働き続ける上での障害

問10 女性が職業を続けていく上では、どんな障害があると思いますか。（○は3つまで）

男女とも「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」（女性71.5%、男性57.5%）が最も多く、次いで、男性は「結婚や出産の際、退職しなければならない慣行が今でも残っていること」（37.5%）、女性は「給与、昇進・昇格の機会に男女間格差があること」（34.4%）の順となっている。

男女の差が大きいものとして、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」（14.0ポイント差）で女性が男性のポイントを上回っており、「結婚や出産の際、退職しなければならない慣行が今でも残っていること」（6.5ポイント差）で男性が女性のポイントを上回っている。

### 【性×年代別】

女性では、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」は全ての年代で最も多く、6～7割となっている。

男性においても、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」は全ての年代で5割を超え、最も多くなっている。

図10-1 女性が働き続ける上での障害（性別）

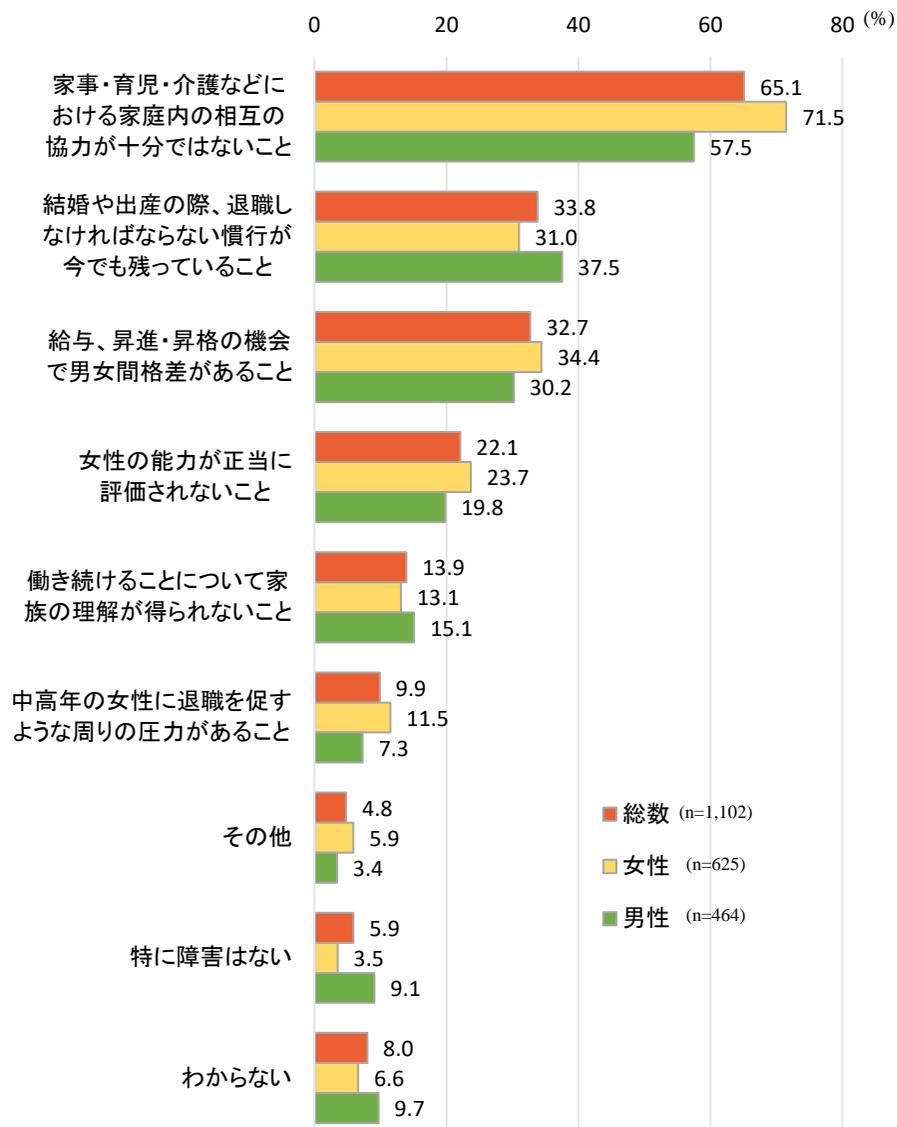
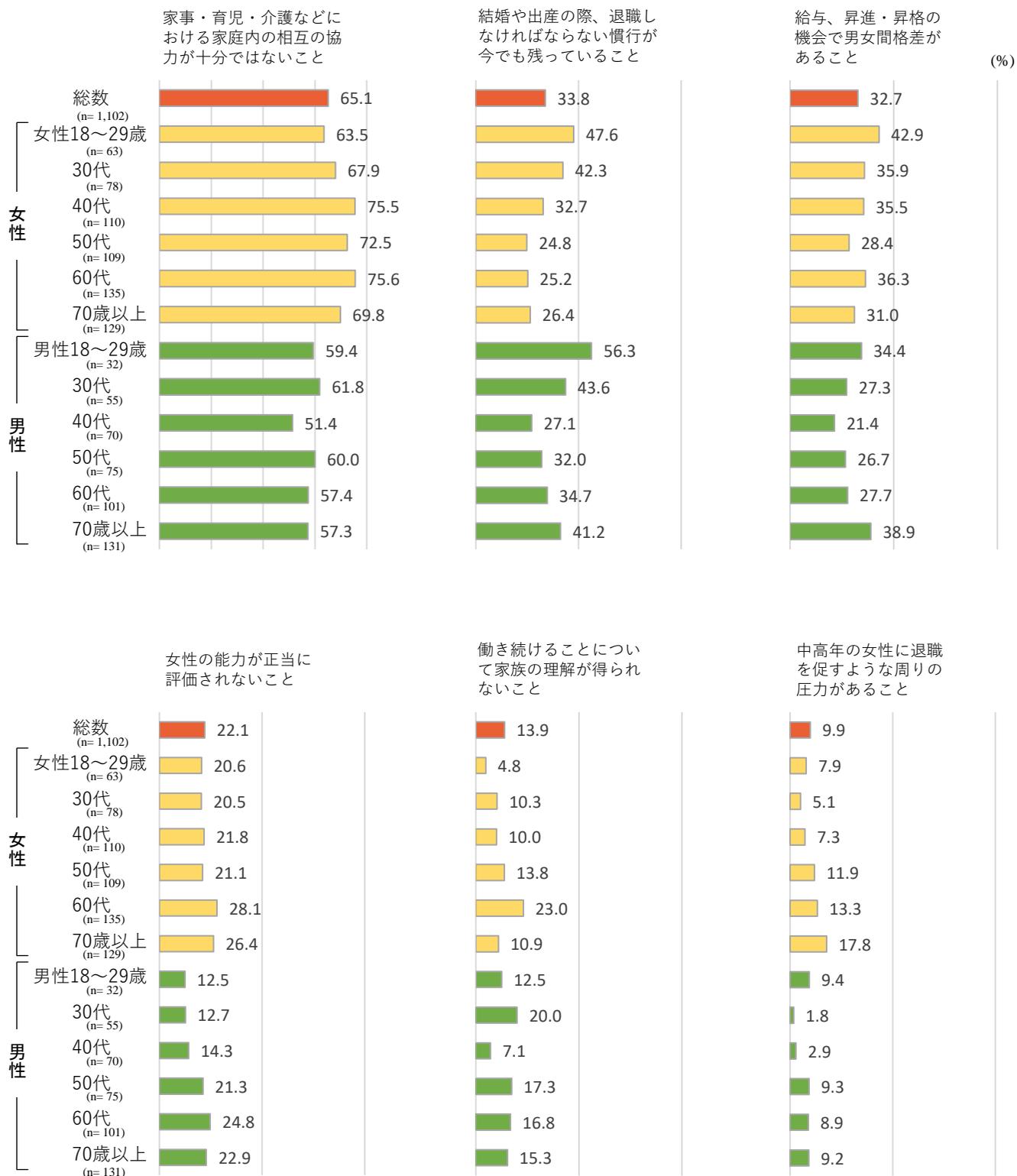


図10-2 女性が働き続ける上での障害（性×年代別）



## 7 女性の再就職に必要なこと

問11 出産や育児、介護などで仕事から遠ざかっていた女性が再就職しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

男女とも「保育・介護サービスの充実(施設の充実、時間の延長など)」(女性70.4%、男性63.8%)と「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」(女性69.0%、男性59.3%)の2項目が多くなっている。

「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」(9.7ポイント差)、「再就職のための自己啓発セミナーや技術、技能の習得機会の充実」(7.7ポイント差)は女性が男性を上回り、男性の方が女性を大きく上回る項目は見られない。

### 【性×年代別】

女性では、「保育・介護サービスの充実(施設の充実、時間の延長など)」は40代と70歳以上を除き最も多く、40代と70歳以上では「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」が最も多くなっている。

男性では、40代を除き、「保育・介護サービスの充実(施設の充実、時間の延長など)」が最も多く(18~29歳では「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」も同率で最も多い)、40代では「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」が最も多い。

図11-1 女性の再就職に必要なこと(性別)

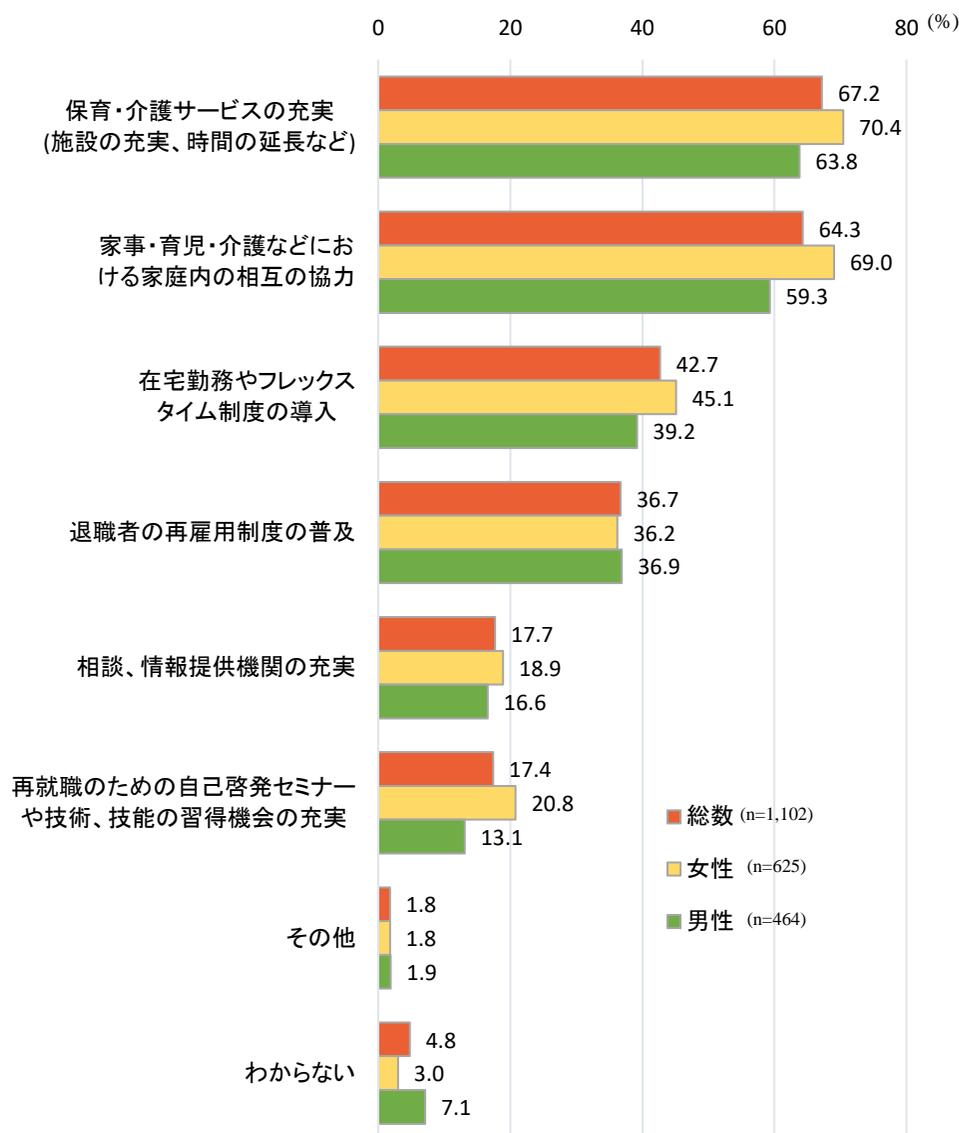
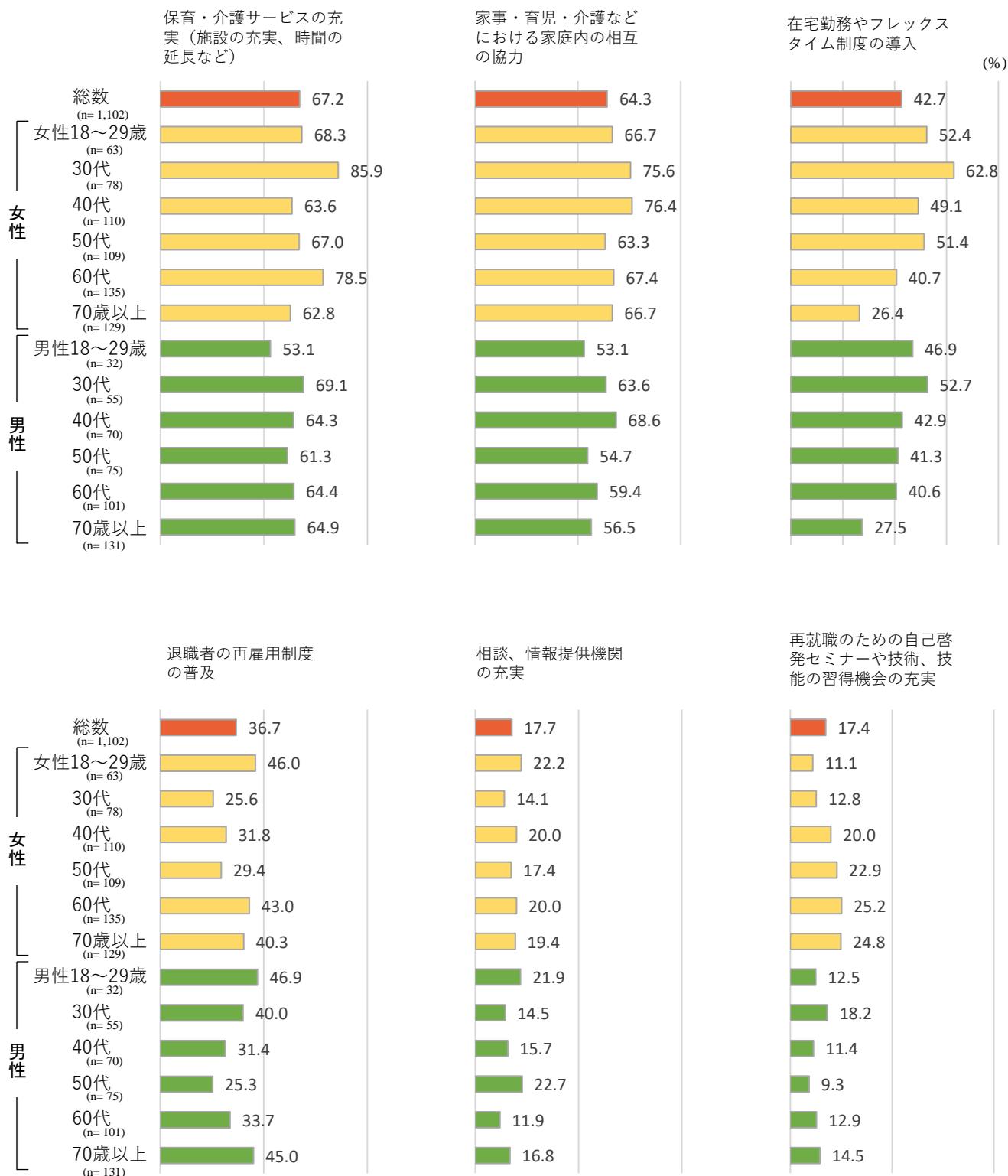


図11-2 女性の再就職に必要なこと（性×年代別）



## 8 男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと

問12 男性も女性も共に仕事と家庭の両立をしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

男女とも、「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」（女性67.5%、男性56.0%）が最も高くなっている。次いで「労働時間の短縮や休暇制度の充実」（女性57.6%、男性51.5%）、「保育・介護サービスの充実」（女性43.4%、男性35.3%）となっている。

上位3項目とも、女性が男性を5ポイント以上上回っている。

### 【性×年代別】

女性では、「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」は30代と40代以外の層で最も多く、30代・40代では「労働時間の短縮や休暇制度の充実」が最も多くなっている。

男性では、「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」は30代と50代以外の層で最も多く、30代・50代では「労働時間の短縮や休暇制度の充実」が最も多くなっている。

図12-1 男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと（性別）

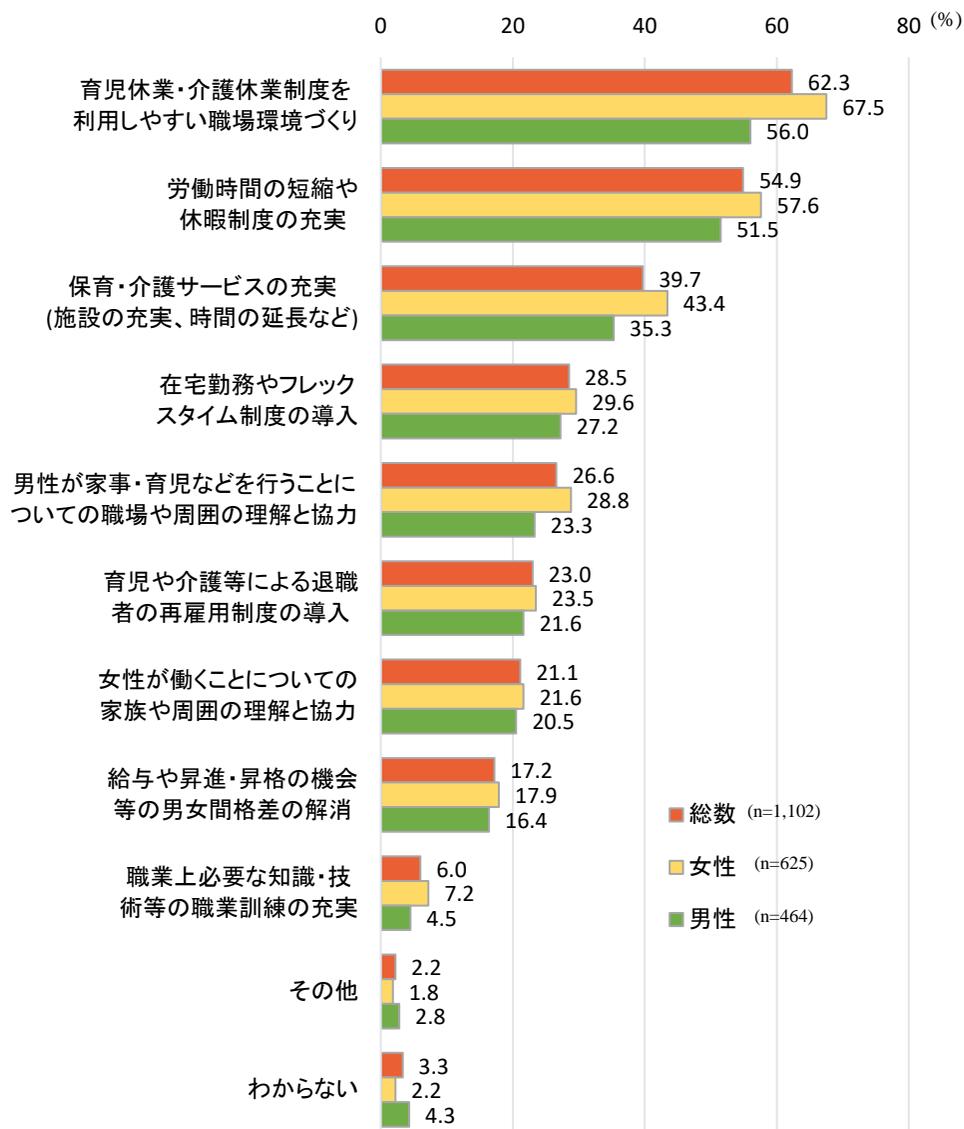


図12-2 男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと（性×年代別）

